

ミカン生育情報

千葉県
平成 24 年 9 月号

平成 24 年 8 月の気象

平均気温は、第 2 半旬は平年より 0.7℃低く、他の半旬は平年より 0.3～1.5℃高かった。月平均気温は 26.6℃で平年の 25.9℃より 0.7℃高かった。

降水量は、すべての半旬で平年より 17～30mm 少なかった。月合計は 13mm で平年より 132mm (91%) 少なかった。

日照時間は、第 1、5、6 半旬では平年より 8～25 時間多く、第 2、3、4 半旬は平年以下であった。月合計は 257 時間で平年より 37 時間 (17%) 多かった。

表 1 平成 24 年 8 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温 ℃		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	26.7	25.8	0	22	45	37
2	25.4	26.1	2	26	32	37
3	26.5	26.2	7	25	26	36
4	26.4	25.9	5	22	34	35
5	27.3	25.8	0	20	60	35
6	27.0	25.6	0	30	59	40
平均/合計	26.6	25.9	13	145	257	220

果実及び樹の生育

産地及び暖地園芸研究所における本年度の温州ミカンの着果量は早生温州、普通温州とも昨年より少なく、園地や樹によるバラツキがある。日焼けの発生は少ないが、乾燥による落葉がみられる園がある。

8 月下旬における各調査地の果実の生育を表 2 に示した。3 調査地の横径、縦径の平年比は早生温州がそれぞれ 87%、92%、普通温州がそれぞれ 91%、93%、川野夏柑がそれぞれ 93%、95%で、いずれも平年を下回っていた。

病害虫の発生

病害虫では果樹カメムシ類の発生が非常に多く、ミカンハダニの発生がやや多く、そうか病の発生がやや多くなっている。

表2 果実の生育（平成24年8月28日）

品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
興津早生	三 芳	4.3	(86)	4.0	(93)
	千 倉	4.4	(87)	3.8	(88)
	暖地園研	4.4	(88)	4.0	(94)
大津4号	三 芳	4.5	(90)	3.8	(92)
	千 倉	4.6	(90)	3.8	(91)
	暖地園研	4.3	(86)	3.4	(87)
青島温州	三 芳	4.7	(94)	4.0	(98)
	千 倉	4.6	(92)	4.0	(97)
	暖地園研	4.5	(92)	3.7	(92)
川野夏柑	暖地園研	6.1	(93)	5.5	(95)
早生温州 (平均値) *		4.3	(87)	3.9	(92)
普通温州 (平均値)		4.5	(91)	3.8	(93)

() の数字は平年値（平成6～23年の平均）を100とした比数

* 早生温州：興津早生3調査地の平均

普通温州：大津4号、青島温州3調査地の平均

9～10月の栽培管理

摘果 本年の着果量は少なく、園地や樹によるバラツキがあり、樹にあった摘果対応が必要である。9～10月にかけて、早生温州の樹上選果と普通温州の仕上げ摘果及び樹上選果を行う。傷果、日焼け果、腰高果、外周部の大玉果、内裾部の小玉果等を取り除き、適正着果量（適正葉果比：早生温州では30葉に1果、普通温州では25葉に1果）まで摘果する。樹上選果では上向きの大玉果や2S以下の小玉果、傷果を取り除き、果実品質を揃える。

枝つり・枝支え 果実の肥大に伴い、重さで地面近くまで枝全体が垂れ下がってくると、日照不足により着色不良果が、また地面とのこすれにより傷果や腐敗果が発生しやすくなる。これを防止するため支柱や紐を用いて枝支えや枝つりを行う。

浮皮症の軽減対策 浮皮症は着色期の高温多湿により増加する。園地の通風を良くし、排水の点検を行い乾燥に努め、浮皮になりにくい下垂した果実を残し、上向きの大玉果を摘果する。また、収穫前までにカルシウム剤を20～30日間隔で2～3回散布する。

病害虫の防除 果樹カメムシ類は園内外を見回り、飛来を確認したら早急に防除を行う。ミカンハダニは平年に比べ多く、多発圃場では早めに対処する。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話 0470-22-2961
果樹の生育情報は千葉県ホームページ「農林水産業」の「生育情報」でもご覧いただけます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>